



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

令和7年
1月号
No.792



上小阿仁村消防出初式

1月4日、上小阿仁村消防出初式が行われ、消防団員が小沢田集落内を堂々で行進しました。

主な内容

- | | |
|-------|----------|
| 2～3 P | 新年のご挨拶 |
| 6～7 P | 行政報告要旨 |
| 8～9 P | 申告相談について |



上小阿仁村PRキャラクター
こあぴょん



新年のごあいさつ

上小阿仁村長 小林悦次

明けましておめでとうござい
ます。

健やかに新年を迎えられたこと
とお喜び申し上げます。

昨年11月の村長選挙により、継
続して村政を担うことになりました。

健康で長生きのできる住み良い
村をみなさんの知恵とお力をお借
りして、一緒に創ってまいります。
3つのことに取り組むこととし
ております。

1つ目は、3年連続の豪雨災害
の復旧です。

2つ目が、災害防止事業の推進
です。

3つ目が、総合計画の策定です。
1つ目の災害復旧にあたっては、
私の携帯電話に国土交通省から何
回も電話が入りました。

災害調査に国の技術職員を派遣
してくれるというのです。

合わせて、秋田県からも支援を
受け、毎日、20人近い技術職員が
村の職員と一緒に災害現場の調査
と資料づくりに夜遅くまで対応し
ていただきました。

その結果、約20億円というたい
へんな被災の報告となりました。

被災者は、これまで、災害復旧
に負担金を支払い、復旧したとこ

ろが再び被害を受けました。

激甚災害の指定を受け、広範囲
に甚大な農地災害を復旧するため、
12月議会でも農家負担をゼロにして
復旧を進めています。

2つ目の災害防止事業は、3年
連続の豪雨となり、今後、毎年、
あるものとして対応してまいりま
す。

災害の時、一番大切なことは、
自分の命を守ることです。

いち早く、安全なうちに安全な
所に逃げていただくことだと思っ
ております。

そして、災害を経験して困った
ことは、水と電気がない生活です。

洪水を防ぐ効果の大きいダムと
山林の整備によって、きれいな水
を安定的に確保し、貯水される水
で発電して電気を供給します。

これらは、自然エネルギーを活
用する企業の誘致や既存企業の支
援で、働く場の拡大と若者定住に
つながります。

ほんの50年位前の村は、萩形ダ
ム建設と山林に関わる営林署など
の山林整備事業によって、賑わっ
ておりました。

3つ目の総合計画の策定につい
ては、全国的に人口が減少する中、
村にたくさんあるものや村にしか

ないものを活用することで、新
しい事業展開をして、子どもを育
てやすい環境にします。

村は、小水力発電可能性調査で
10カ所を調査し、4カ所で発電の
収支が合うとの報告をもらってい
ます。

また、行政懇談会の提言や防災
ダム、山林整備などを総合計画に
盛り込んでいくものです。

総合計画は、三本の柱を基本に
して策定します。

1つ目は、みなさんの健康です。
それは、健康で長生きしてい
ただくことです。

2つ目は、雇用の拡大です。
村にたくさんあるものや村にし
かないものを活用することで、
新しい産業を支援します。

3つ目は、教育の充実です。
子供は、村の宝です。

先人の教えを承継し、教育立村
を推進します。

子供は、保護者だけでなく、地
域が一体となって育てていきます。

総合計画によって、健康で長生
きのできる住み良い村をみなさん
の知恵とお力をお借りして、一緒
に創ってまいりますので、本年も
よろしく願ひして、新年のごあ
いさつといたします。

新年のごあいさつ

上小阿仁村議会 議長

伊藤 秀 明



明けましておめでとうござい
ます。
輝かしい新年を迎え、村議会を
代表し、新年のごあいさつを申し
あげます。

議長という大役を仰せつかり2
年となり、その職務の重さを認識
しつつ、村民の皆さまには平素か
ら村議会に対しまして、温かいご
支援とご理解を賜り、議員一同深
くお礼申し上げます。

まずもって昨年7月25日に発生
しました「記録的な大雨」により
被災された村民の皆さまには心か
らお見舞い申し上げますと共に、
一日も早く平穏が戻ることを祈願
する次第であります。

いづれ3年連続の小阿仁川水系
の水害は異常であり、今後は村当
局と一緒に課題解決に努めていく
所存でございますのでどうかご理
解くださるようお願いいたします。

さて昨年を振り返りますと世界
中で話題となっているドジャース
の大谷翔平選手が数々の史上初を
達成しMVPを受賞したことは誠
に喜ばしいことですし、村の小学
校にも3個のグローブが送られて
おり、このことは「子供達に未来
の夢」を与えてくれました。どう
ぞこれからも更なる活躍を期待し
ています。

そして全世界で猛威をふるって
おりました新型コロナウイルス感

染症は、完全な終息には至ってお
りませんが、村民の皆さまや事業
者の皆さまによる感染症対策の徹
底により、以前の活気のある村に
戻った1年となり、「おらがふる
さとフェスティバル」は残念ながら
ら水害のため中止されたものの殆
どのイベントが開催された年でも
ありました。

このことから9月には台湾・萬
巒郷と姉妹都市提携し互いに訪問
を実施している視察研修について
も、副村長を団長に議員4人、公
募者・職員を含め12人が参加させ
ていただきました。

萬巒郷では公所職員と合流した
際に、横断幕には「熱烈歓迎日本
上小阿仁村」と書かれていました。
研修は、公所・郷立幼児園や萬巒
社區長壽俱樂部（社協）のデサイ
ービスや、民間の晨欣食品有限公
司を見学しました。

この会社の社長夫人は35年前に
東京農業大学を卒業したとのこと
で、日本語が上手で驚きました。
村も東京農業大学と関わりがある
のでとても感激した次第です。ま
たチョコレートづくり体験、教会
図書館も視察することができまし
たので併せて報告させていただきます。

なお、今年においても65歳以上
の高齢者が6割の村ですので、今
後、更なるコロナワクチン・イン

フルエンザ予防接種が必要であり、
これからの対策を要望して参りま
す。

さて、11月には小林村長が再任
されました。その中で最大の新規
事業は、集住型宿泊交流拠点施設
「コアニティー」が、平成30年3
月に総事業費4億8千万円。

また、待望の「かみこあに保育
園」が令和5年7月に、総事業費
5億8千4百万円で完成しており
ます。

更に、今年3月には、「村営ア
パート」が2億4千万円で完成す
る予定であります。

これらは村長が予算を作成し、
議会に提出され、それを議会が審
議した上で議決した事項でありま
すので、少なくとも議会は自らに
課せられた議決責任を負うことに
なります。

村民の皆さまには反対意見もあ
るように思われますが、建設され
た以上は更なる有効利用に努める
よう、村当局へ重ねて意見等を申
し立てて参ります。

皆さんからのご意見ご指導を賜
り、より身近な議会活動を目指し
て努力して参ります。

結びに、新しい年が、村民の皆
さまにとりまして、幸せで実り多
い年となりますよう議員一同心よ
りご祈念申し上げ新年のご挨拶と
させていただきます。

上小阿仁村副村長に 恵比原史氏

12月12日に開催された12月定例議会において、副村長の人事案件が同意されました。



恵比原 史氏
(沖田面)

任期
令和6年12月25日

令和10年12月24日

上小阿仁村代表監査委員に 武石誠氏

12月12日に開催された12月定例議会において、上小阿仁村監査委員の人事案件が同意されました。



武石 誠氏
(羽立)

任期

令和6年12月13日

令和10年12月12日

上小阿仁村監査委員に 北林義高氏

12月12日に開催された12月定例議会において、上小阿仁村監査委員の人事案件が同意されました。



北林 義高氏
(下五反沢)

任期
令和6年12月13日

令和9年4月30日

固定資産評価審査委員に 石上稔氏

12月12日に開催された12月定例議会において、上小阿仁村固定資産評価審査委員の人事案件が同意されました。



石上 稔氏
(堂川)

任期

令和6年12月22日

令和9年12月21日

上小阿仁村消防団員 永年勤続等表彰受賞

1月4日、上小阿仁村消防出初式典において、秋田県知事表彰などの伝達や辞令交付が行われました。

秋田県知事表彰

有功章

◆ 永年勤続章(40年以上勤続)
第一分団部長 北嶋 秀一
第二分団分団長 田中 寿
第二分団副分団長 北林 繁樹
第二分団班長 伊藤 政喜

◆ 永年勤続章(35年以上勤続)
第二分団班長 小林 武彦

◆ 永年勤続章(30年以上勤続)
第三分団副分団長 鈴木 敏彦
第一分団副分団長 鈴木 清光
第一分団部長 鈴木 常義
第三分団部長 武石 喜代美

◆ 永年勤続章(25年以上勤続)
第三分団部長 武石 金幸
第三分団団員 武石 孝夫
第三分団団員 武石 昭

◆ 永年勤続章(20年以上勤続)
第二分団班長 加賀谷 博人
第三分団班長 齊藤 泰人
第一分団班長 鈴木 隆幸
第二分団団員 松浦 美隆
第一分団団員 北林 英樹
第一分団団員 畠山 優

秋田県消防協会長表彰

◆ 勤続章(10年勤続)

第一分団団員 小林 史弥
第一分団団員 鈴木 誠幸
第一分団団員 高田 亮平

秋田県消防協会 大館北秋田支部長表彰

◆ 支部功労章

第二分団副分団長 北林 繁樹

◆ 辞令交付

◆ 退職団員
第三分団分団長 大沢 義満
第三分団団員 原田 吉智

◆ 昇格団員
第二分団副分団長 加賀谷 政人
第二分団班長 加賀谷 博人
第二分団班長 松浦 隆幸
第三分団分団長 石上 敏幸
第三分団副分団長 武石 金幸
第三分団部長 武石 鉄明
第三分団班長 武石 孝夫

◆ 移動団員
第二分団団員 北林 繁樹

令和6年度防火・防災作文受賞者

◆ 優秀賞

三浦 清香さん
(上小阿仁中学校2年)

武石 倅歩さん
(上小阿仁中学校2年)

鈴木 大和さん
(上小阿仁中学校2年)

(上小阿仁中学校2年)

上小阿仁村 功労者表彰式

12月20日、生涯学習センターで上小阿仁村功労者表彰式が開催されました。

各般の分野でご活躍された3氏の方々に対し、村長から表彰状と記念品が贈られました。

【民生功労者】



たぐち ゆきなほ
田口 幸直 氏
(杉花)

永年にわたり、上小阿仁村消防団として職務に精励され、団員を統率し民生の安定と村政の発展に寄与されました。

- ◇昭和50年1月～平成8年12月
上小阿仁村消防団 団員
- ◇平成9年1月～平成10年12月
上小阿仁村消防団 班長
- ◇平成11年1月～平成12年12月
上小阿仁村消防団 部長
- ◇平成12年12月～平成15年12月
上小阿仁村消防団 副分団長

- ◇平成16年1月～平成23年12月
上小阿仁村消防団 分団長

・主な表彰歴
叙勲 瑞宝単光章

【地方自治功労者】



きたばやし やすし
北林 康司 氏
(秋田市)

永年にわたり、秋田県議会議長などの要職を歴任され、本村の良き相談役として、ご指導ご鞭撻をいただき村政の発展に寄与されました。

- ◇昭和62年4月～令和5年4月
秋田県議会議員
- ◇平成9年6月～平成11年4月
秋田県議会議長
- ◇平成5年6月～平成7年4月
秋田県議会総務企画委員会委員長
- ◇平成7年6月～平成9年7月
秋田県議会高速交通体系整備促進特別委員会委員長
- ◇平成12年12月～平成15年2月
秋田県議会高等教育に関する特別委員会委員長
- ◇平成19年6月～平成20年9月

- 秋田県議会子育て支援・教育充実等に関する調査特別委員会委員長
- ◇平成21年6月～平成22年4月
秋田県議会予算特別委員会委員長

・主な表彰歴

- 秋田県知事表彰（地方自治功労）
- 秋田県議会表彰（在職35年以上）
- 総務大臣感謝状（議員35年）
- 全国都道府県議会議長会表彰（議員35年）
- 叙勲 旭日中綬章

【地方自治功労者】



ふるしやう しげのり
古性 重則 氏
(東京都)

永年にわたり、足立区議会議長などの要職を歴任されると共に、関東地区かみこあに会会長として先頭に立ち、郷土との交流を深め村政の発展に寄与されました。

- ◇平成11年4月～令和5年5月
足立区議会議員
- ◇平成22年5月～平成23年5月
足立区議会議長
- ◇令和3年6月～令和4年6月
足立区議会議長

- ◇平成27年5月～平成28年5月
足立区議会総務委員会委員長

- ◇平成29年5月～平成30年5月
足立区議会総務委員会委員長

- ◇平成20年5月～平成21年5月
足立区議会文教委員会委員長

- ◇平成24年5月～平成25年5月
足立区議会文教委員会委員長

- ◇令和元年6月～令和2年6月
足立区議会文教委員会委員長

- ◇平成16年5月～平成17年5月
足立区議会産業経済委員会委員長

- ◇平成26年5月～平成27年5月
足立区議会議会運営委員会委員長

- ◇平成14年5月～平成15年5月
足立区議会交通問題対策特別委員会委員長

・主な表彰歴

- 足立区表彰（自治功労10年）
- 足立区表彰
- （区制80周年記念・自治功労）
- 足立区表彰（自治功労15年）
- 東京都知事表彰（地域活動功労）
- 叙勲 旭日小綬章



12月定例会

行政報告要旨

令和6年度補正予算について

今定例会提出の一般会計補正予算は、人事院勧告による月例給と期末・勤勉手当の引き上げやシステム改修に伴う負担金の補正などが主な内容となっております。

また、特別会計につきましても、人事院勧告による月例給と期末・勤勉手当の引き上げなどに要する経費の補正が主な内容となっております。

台湾萬巒郷友好親善交流研修について

9月22日から26日の日程で、12人からなる研修団が姉妹都市提携を締結している台湾萬巒郷を訪問し、幼稚園や食品加工会社、カカオ農園、寺院、教会などを訪問し、台湾の産業や文化について見識を深めました。今回の研修団は、台湾訪問が初めての方々ばかりでしたが、萬巒郷の役場職員や地域の方々など多くのサポートをいただき、安心して研修を終えることができました。

消防・防災関係について

11月3日から11月9日まで秋の火災予防運動が実施され、消防団員による火災予防啓発チラシの配布や消防車による巡回広報を実施しております。

火災予防運動最終日となる11月9日には、上仏社集落の協力のもと防災訓練を実施しております。

上仏社集落から参加された17名の方は、避難訓練と避難所運営訓練を実施し、消防団員32名は、住民の避難誘導と越水危険箇所への「せき板工」による水防訓練を実施しております。

いつ発生するか分からない災害に対し、住民の防災意識の向上が図られました。

戦没者追悼式について

10月8日、上小阿仁開発センターにおいて、令和6年度上小阿仁村戦没者追悼式を開催しました。

戦後79年を経て恒久平和の誓いのもと、上小阿仁村遺族会 会長 萩野芳紀氏と村遺族会会員あわせて19名が参列し、来賓や関係者と黙とうや献花を行いました。

上小阿仁村関係戦没者205名の英霊の遺徳を偲び、戦争に尊い命を捧げた戦没者のご冥福をお祈りいたします。

環境衛生について

10月20日、秋の全村一斉クリーンアップを実施しました。

クマの目撃情報もあり、規模を縮小しましたが、650kgのごみが回収されました。

濃霧の早朝にもかかわらず、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

インフルエンザ予防接種の助成について

例年12月から3月にかけて流行するインフルエンザの予防接種については、県内ほとんどの医療機関で接

種することができ、10月から接種が開始されております。

村に住所を有する65歳以上の定期予防接種の対象となる方、64歳以下の任意予防接種の対象となる方、それぞれの接種料については、全額助成としております。

任意接種の64歳以下の方については、契約医療機関での接種は全額助成となり、契約していない医療機関での接種は、申請していただくことで全額助成となります。

接種料の助成により、重症化感染防止につながるものと考えております。

新型コロナウイルスワクチン予防接種について

令和6年4月から新型コロナウイルス感染症が予防接種法のB類疾病に位置づけられました。

医療機関への事前予約が必要ですが、令和6年10月から年1回の接種が開始されております。

ワクチン接種には、「定期接種」と「任意接種」の2種類があり、定期接種の対象となる方は、65歳以上の方や60歳以上65歳未満の基礎疾患が重度の方です。

定期接種以外の任意接種の対象となる方は、6か月から65歳未満の方です。

新型コロナウイルスワクチン予防接種料は高額となることから、助成回数は1回となりますが、村では、今年度から接種料の助成を行っております。

村に住所を有する定期接種の対象となる方は、契約医療機関での接種は全額助成となります。

稲作状況について

農林水産省及び東北農政局が公表した10月25日現在の本年稲作の作況指数は、秋田県全体で102の「やや良」となっており、県北地区も103の「やや良」となっております。村の水稲作付面積は330・6haとなっております。

内訳は、主食用米が266・1ha、加工用米が24・9ha、飼料用米が1・9ha、米粉用米が8・0ha、新市場開拓用米が29・7haとなっております。

主食用米の作付目安263・1haに対し、実際に作付した面積が266・1haとなっており、3・0ha上回っております。

上小阿仁村産業文化祭について

これまで別々の会場で開催しておりました上小阿仁村産業祭と上小阿仁村生涯学習発表会を上小阿仁村産業文化祭として、10月19日から27日までの9日間、上小阿仁村生涯学習センターで開催しました。

産業部門は、農産物107点、アイディア品2点、食料品16点、木工品7点、総数で前年度の66点を大きく上回る132点の出品がありました。

初日の講演会は、農林水産技術会議評価専門員である株式会社アグリインハート（青森県黒石市）代表取締役である佐藤拓郎氏による「スマート農業と有機農業、農福連携の取り組み」についてご講演をいただきました。

2日目は天候に恵まれたほか、自衛隊秋田地方協力本部、北秋田警察署、北秋田市消防本部の車両展示や、

上小阿仁村商工会女性部によるフリーマーケットが開催され、たくさんの方が来場しました。

有害鳥獣捕獲について

今年度の有害鳥獣捕獲は10月末現在で、ツキノワグマ8頭となっており、昨年度同時期と比較して35頭の減となっております。

イノシシについて、目撃情報や活動跡が多数確認されており、生息域の拡大が進んでおります。

決定的な解決策がなく対応に苦慮しておりますが、他地域の対策を参考に被害予防策や、くくり罠による対応を検討してまいります。

鳥獣被害対策果樹等伐採事業費補助金については、10月末現在で8件の申請を受けております。鳥獣による農作物等の被害を防止するために引き続き制度の周知に努めてまいります。

地域おこし協力隊について

地域の農家と協力しながら農業の活性化に取り組む「委託型地域おこし協力隊」を公募したところ1名の応募がありました。

書類による一次審査を経て、面接を実施した結果、採用が決定しております。

埼玉県所沢市在住の、園芸経験が豊富な方で、上小阿仁村の特産作物の栽培に興味をお持ちいただいております。

今後、農家とのマッチングを行い、地域住民と交流を深めながら農業技術を習得できるようにサポートしてまいります。

着任は来年3月の予定で、住居等の諸準備を進めており、生活環境等を整えたうえで本格的な活動をしていただく予定です。

災害復旧事業について

産業課

令和6年7月の豪雨により発生した農地農業施設災害について、国の災害査定申請件数が48件で、11月末時点で13件の災害査定が終了しております。

残りの35件についても、災害査定が終了次第、早期の復旧に努めてまいります。

建設課

令和6年7月の梅雨前線豪雨により発生した災害について、国の災害査定を10月21日と22日に林道施設災害復旧事業3箇所、10月23日から11月1日には公共土木施設災害復旧事業として村道12箇所、河川3箇所、水道1箇所を受け、いずれも事業決定を受けております。

除雪計画について

今年の除雪計画は、村道等107路線42・5km、林道や村営住宅地内道路等47箇所、8・4km、合計50・9kmの車道除雪と、国・県道や村道を合わせて5路線11・6kmの歩道除雪を計画しております。

使用する除雪機械については、直営車両がショベルドーザー3台、ロータリー除雪車2台、業者委託車両がショベルドーザー13台、ミニローダー1台の総数19台の体制で実施する計画となっております。

学校教育関係について

9月17日に令和7年度の小学校入学予定者4名（男3名、女1名）に対する就学時健康診断が実施されました。

就学予定児童には、聴力検査・視力検査等が行われました。

保護者には学校から「健康と給食について」の説明が行われ、秋田県教育委員会からのリーフレット「もうすぐ1年生」についても説明が行われております。

10月29日から11月7日までの間、昨年に続いて、横浜市内の小学校児童2名が上小阿仁小学校で勉強しております。

祖父母の家に滞在しながら通学し、皆と仲良く交流しております。

幼児教育関係について

11月6日に北教育事務所による認定こども園訪問が行われました。午前中は指導主事の先生方に保育や給食の様子を見ていただき、午後は職員の研修会が行われました。併せて、教育委員会も訪問して保育を参観しております。

生涯学習・社会教育関係について

10月19日から27日まで生涯学習センターを会場に、生涯学習週間が行われました。

今年は産業祭も同じ会場で行われ、多くの来場者で賑わいました。

学習作品展示のほかに、学習発表会、スポーツ賞・文化賞表彰、親子映画鑑賞会、本のリサイクルなども行われました。

27日には東京農業大学の醸造科学

科・前橋健二教授による「おいしさをつくる伝統発酵技術」と題した講演が行われております。

11月5日から10日まで、「ささきひでお口筆詩画の展示会」が生涯学習センターにおいて行われました。

佐々木氏は若くして事故で車椅子生活になり、両手が不自由で、口にくわえた絵筆で詩画を描いて、多くの人に感動と勇気を与えてくれました。

11月22日には、佐々木ひでお口筆詩画応援隊の高橋悦子代表から、展示会での収益金の一部を上小阿仁村水害被災者義援金としていただいております。

診療状況について

4月から10月までの診療状況は、医科外来が診療日数141日、患者数3574人、1日平均患者数は25人となっております。昨年と比較して1日平均で2人減となっております。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科につきましては、診療日数22日、患者数492人、1日平均患者数は22人となっております。昨年と比較して1日平均で1人減となっております。

毎週水曜日と木曜日診療の歯科につきましては、診療日数60日、患者数598人で1日平均患者数は10人となっております。昨年と比較して1人減となっております。

10月21日からは、インフルエンザと新型コロナウイルスの予防接種を始めております。

村民の方は、診療所での接種が無料となります。